

# 三菱マテリアル株式会社 I R決算説明会資料

2016年5月13日

取締役社長 竹内 章

# 目次

1. 業績サマリー(P3-5)
2. 中期経営計画の推進状況 (P6-9)
3. 個別事業の取り組み (P10-16)
4. 総括 (P17)

# 1. 業績サマリー（2016年3月期 連結実績）

## 前年 実績 対比

**売上高** : 銅価下落、設備トラブルなどにより金属事業を中心に減収。  
**営業利益** : 北米事業伸長のセメント事業が増益となったが、原料影響を受けたアルミ事業の減益などにより、減益。  
**経常利益** : 鉱山関連損益の悪化も加わり、減益。  
**当期純利益** : 投資有価証券売却益などの特別利益の増加により、増益。

(業績：億円)	15年3月期 実績(a)	16年3月期 実績(b)	増減(b)-(a)
売上高	15,172	14,178	△993
営業利益	718	704	△14
経常利益	810	724	△86
当期純利益	561	613	+51
一株利益（円/一株）	42.85円	46.80円	+3.95円
一株配当金（円/一株）	8円	10円	+2円
配当性向（%）	18.7%	21.4%	+2.7%
為替（円/US\$）	110円	120円	+10円
銅価格（LME）	297 ¢ /lb	237 ¢ /lb	△60 ¢ /lb

# 1. 業績サマリー（2016年3月期 連結実績）

## 前回 予想 対比

**売上高** : 概ね予想通りに着地。  
**営業利益** : セメント輸出価格の下落、超硬製品の販売下ぶれなどにより、未達。  
**経常利益** : 営業利益の下ぶれを鉱山配当の増加で一部カバーしたが、若干の未達。  
**当期純利益** : 特別損益の改善などにより、達成。  
**配当金** : 前期比+2円増配の年間10円/株と前回予想から変更なし。

(業績：億円)	16年3月期 予想(a) (16.2.9公表)	16年3月期 実績(b)	増減(b)-(a)
売上高	14,100	14,178	+78
営業利益	720	704	△15
経常利益	730	724	△5
当期純利益	540	613	+73
一株利益（円/一株）	41.22円	46.80円	+5.58円
一株配当金（円/一株）	10円	10円	—
配当性向（%）	24.3%	21.4%	△2.9%
為替（円/US\$）	121円	120円	△1
銅価格（LME）	234 ¢ /lb	237 ¢ /lb	+3 ¢ /lb

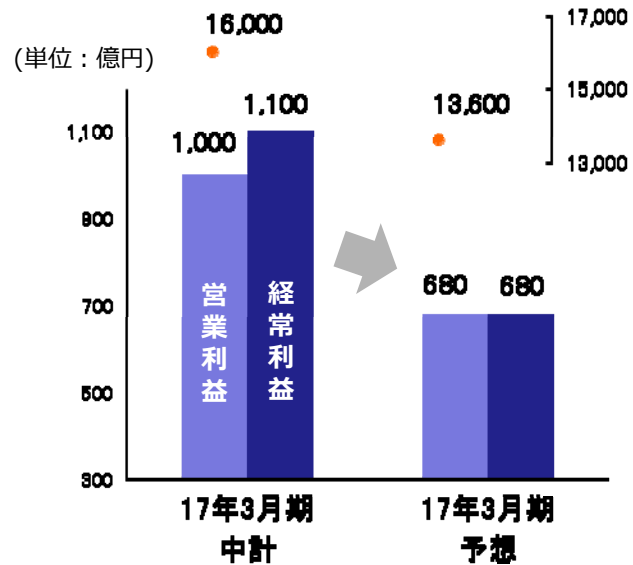
# 1. 業績サマリー（2017年3月期 連結業績予想）

## 前年 実績 対比

**売上高** : 銅価下落、円高などにより、減収。  
**営業利益** : セメント事業、加工事業、アルミ事業が増益予想だが、金属事業における銅価下落や円高の影響が響き、減益。  
**経常利益** : 鉱山配当の減少、休廃止鉱山関連費用の増加なども加わり、減益。  
**当期純利益** : 休廃止鉱山に係る環境対策費用の計上に加え、前期に計上した投資有価証券売却益の反動などにより、減益。  
**配当金** : 純利益の減少に伴い、4円減配の年間6円/株。

(業績 : 億円)	16年3月期 実績(a)	17年3月期 予想(b)	増減(b)-(a)
売上高	14,178	13,600	△578
営業利益	704	680	△24
経常利益	724	680	△44
当期純利益	613	250	△363
一株利益 (円/一株)	46.80円	19.08円	△27.72円
一株配当金 (円/一株)	10円	6円	△4円
配当性向 (%)	21.4%	31.4%	+10.0%
為替 (円/US\$)	120円	110円	△10
銅価格 (LME)	237 ¢ /lb	230 ¢ /lb	△7 ¢ /lb

## 2. 中期経営計画の推進状況（最終年度の展望）



### 1. 17年3月期における主な前提条件の乖離

主な前提条件	17年3月期中計	17年3月期予想	増減
銅価(LME) *1	300 ¢ /lb	230 ¢ /lb	△70 ¢ /lb
為替(円/US\$) *2	100円	110円	+10円
国内々外需要(百万t/年)	48.0	43.0	△5.0
米国々外需要(百万t)	104.2	92.9	△11.3
鉱山配当(億円)	140	49	△91

\*1 銅価感応度（経常利益、感応度）：19億円/10 ¢（上昇：増益要因）

\*2 為替感応度（営業利益、感応度）：6億円/US\$（円安：増益要因）

### 2. セグメント別経常利益の乖離状況（億円）

セグメント	経常利益	乖離額	主な乖離要因
セメント	350 → 211	△139	日本、米国における需要回復の遅れ、中国事業環境の悪化
金属	400 → 251	△149	銅加工品の販売下ぶれ、銅価下落に伴う鉱山配当金の減少
加工	230 → 161	△69	超硬製品需要の下ぶれ及び拡販遅れ
電子材料	60 → 40	△20	スマートフォン向け等の機能材料製品の販売伸び悩み
アルミ	70 → 61	△9	海外における自動車向け押出熱交材の販売下ぶれ

## 2. 中期経営計画の推進状況（全社成長戦略）

### 成長基盤の強化

#### 選択と集中を加速

##### 本中計期間における戦略投資及び主要投資の主な実績

セメント	• 九州工場における <b>石灰石砕砂</b> の生産能力を増強【15/8月】
セメント	• 九州工場における <b>廃石膏ボード粉のリサイクル</b> 処理能力を増強【15/12月】
金属	• 直島製錬所における <b>金銀滓（E-Scrap）</b> 受入・処理能力を増強【16/4月】
加工	• <b>日立ツール社</b> の株式51%を取得し、連結子会社化【15/4月】
加工	• インドネシアにおける <b>超硬エンドミル</b> の生産能力増強及び <b>超硬ドリル</b> の生産開始【16/10月完工予定】

##### 本中計期間における事業再編、株式売却等の主な実績

セメント	• <b>三菱マテリアル建材社</b> を分社化の上、事業譲渡【15/10月】
セメント	• <b>東京舗装工業社</b> の全株式を株式交換にて譲渡【16/4月】
金属	• <b>三菱電線工業社ケーブル事業</b> の合併範囲拡大【16/4月】
加工	• <b>MMCスーパーアロイ社</b> 株式の一部売却【14/6月】
電子材料	• <b>SUMCO社</b> 普通株式の一部売却【15/4月】

## 2. 中期経営計画の推進状況（全社成長戦略）

### グローバル競争力の強化

#### 市場成長が予測される海外での事業を拡大

##### 本中計期間における海外事業強化に関する主な取組実績

セメント	• 南カリフォルニアにおいて <b>新骨材鉱山（ハブス鉱山）</b> を稼働【14/11月】
セメント	• ロス北西部において <b>新たな生コン工場</b> 建設用土地を取得【15/12月】
金属	• <b>金銀滓（E-Scrap）リサイクル事業部門</b> を米国に設置【14/7月】
加工	• <b>超硬販売拠点</b> の拡充（トルコ1, 中国4, ベトナム1, インド1）
加工	• <b>超硬製造拠点</b> の拡充（米国・スペイン拠点の製造能力を計画的に増強）
加工	• <b>焼結部品</b> の製造をインドネシアで開始【14/4月】
電子材料	• <b>サーミスタセンサ</b> の製造をラオスで開始【15/6月】
アルミ	• <b>アルミ押出熱交材（多穴管）</b> の製造をインドで開始【16/3月】
共通	• 東南アジア及び南アジアの <b>統括事務所</b> を現地法人化し、機能・体制を拡充【15/4月】



## 2. 中期経営計画の推進状況（全社成長戦略）

### 財務体質改善の進展

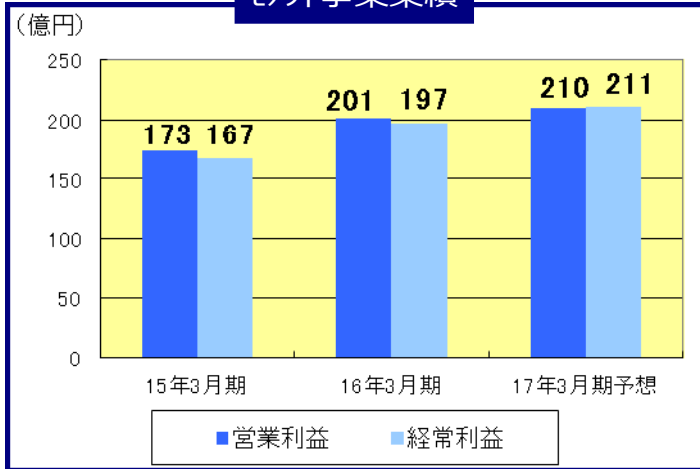
(金額単位：億円)		15年3月期 実績	16年3月期 実績	17年3月期 予想	17年3月期 中計
B S	有利子負債残高	6,308	5,263	5,800	6,500
	ネットD/Eレシオ（倍）	1.0	0.8	0.9	1.0倍以下
C F	営業C F	1,080	1,186	750	－
	（3年間累計）	－	－	(3,017)	(3,610)
	投資C F	△423	△299	△1,150	－
	（3年間累計）	－	－	(△1,873)	(△3,180)
	フリーC F	657	887	△400	－
	（3年間累計）	－	－	(1,144)	(430)

### 今後の財務戦略の方向性

成長投資、財務体質、株主還元の3つのバランスを十分に踏まえた上で、次期中計期間における方針を検討していく

### 3. 個別事業の取り組み（セメント事業）

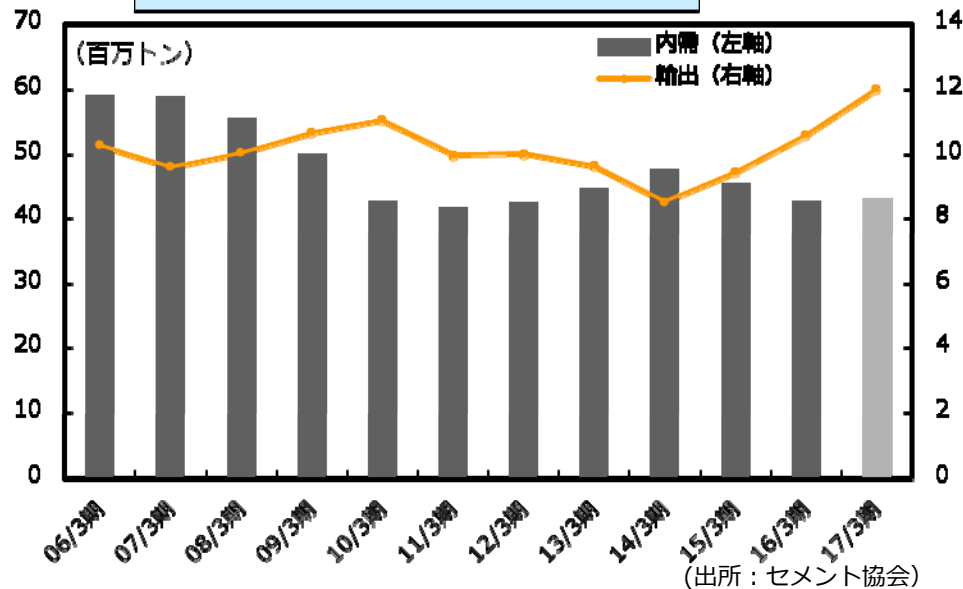
セメント事業業績



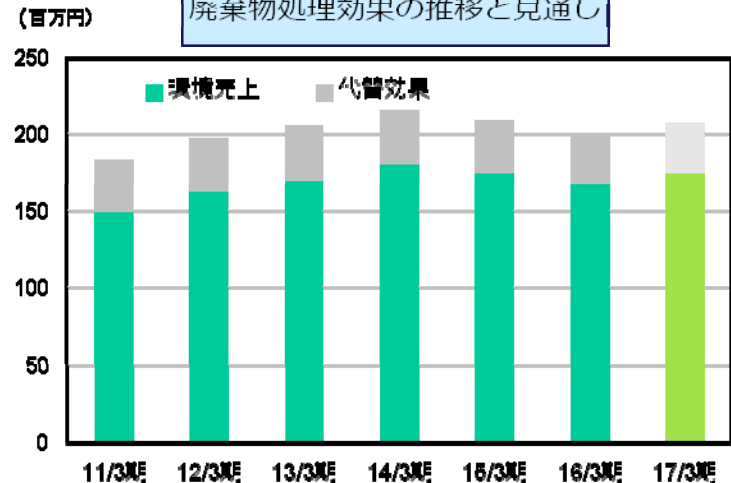
#### 国内

- ◆ **国内需要見通し**  
前年度比微増の43百万トン前提
- ◆ **輸出環境**  
アジア地域での価格下落が想定されるが、オセアニア向けを中心に数量増を図る
- ◆ **産廃物処理の高付加価値化推進**  
処理単価アップと処理困難物の受入拡大

内需と輸出の推移（セメント協会）



廃棄物処理効果の推移と見通し



### 3. 個別事業の取り組み（セメント事業）

#### 北米

##### ◆セメント供給体制の拡充

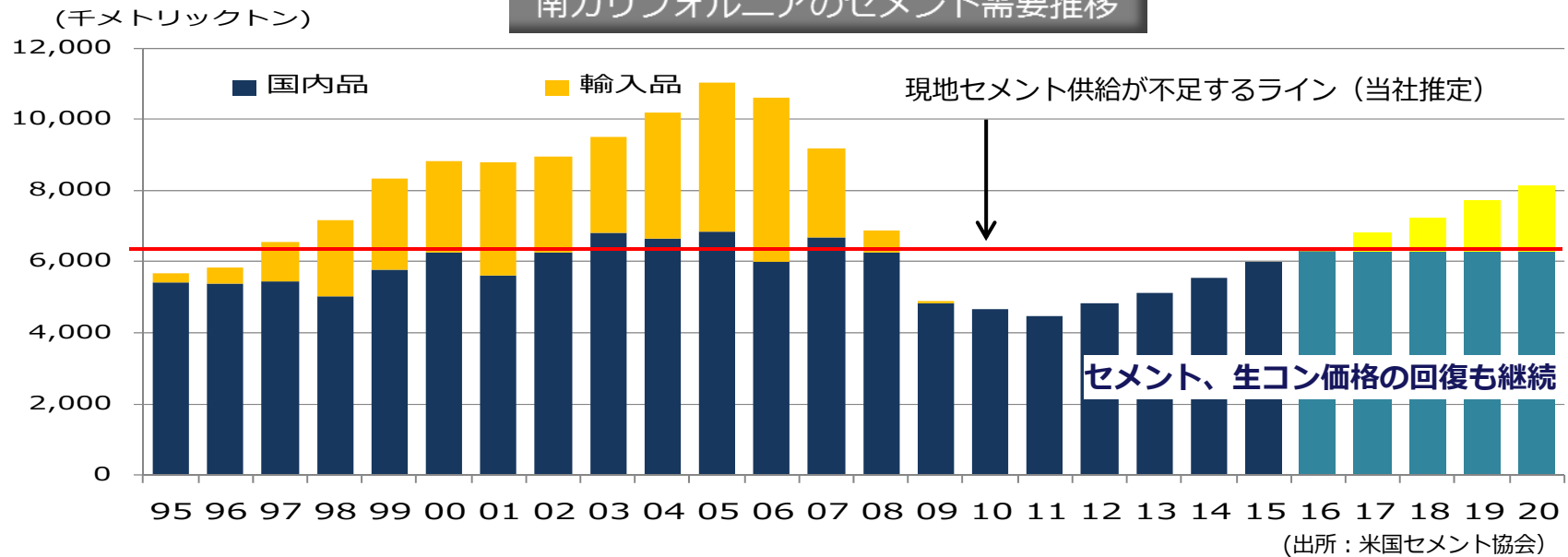
17年以降のセメント供給不足に備え、輸入ターミナルの拡充を準備

##### ◆生コン事業のさらなる拡大

生コン工場の新設・買収、骨材資源のさらなる確保

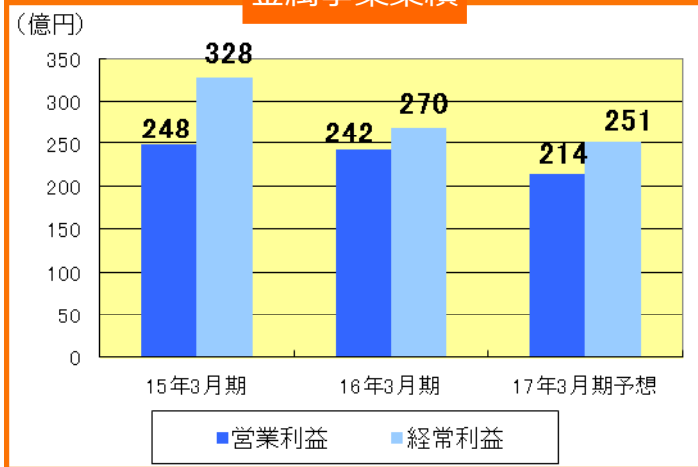


南カリフォルニアのセメント需要推移



### 3. 個別事業の取り組み（金属事業）

金属事業業績



#### 鉱山

##### ◆ 16年度の銅価見通し

16年度は平均230 ¢ /lbの前提  
 (上期 225 ¢ /lb、下期 235 ¢ /lb)

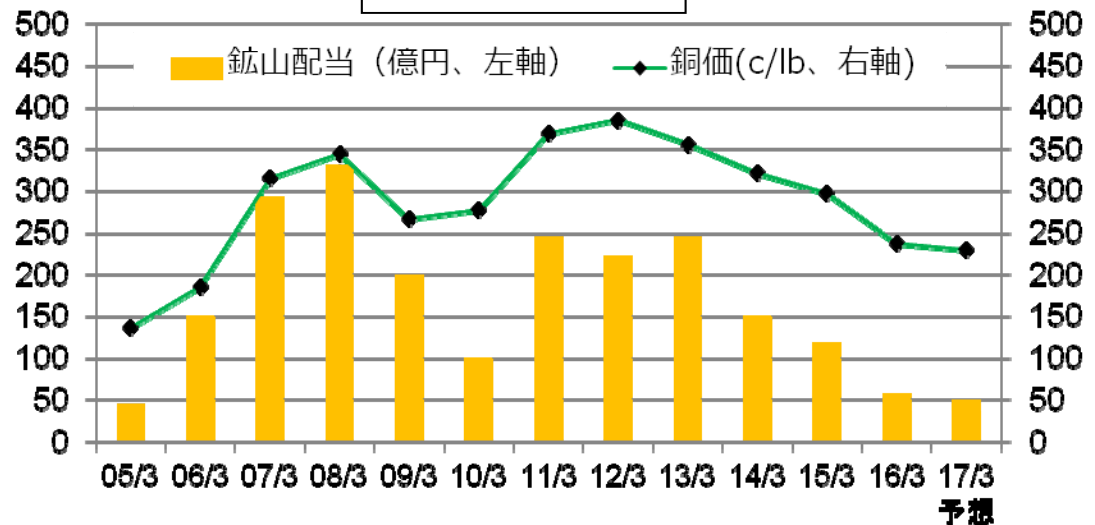
##### ◆ 新規鉱山開発

ペルー国でのサフラナルプロジェクトを  
 引き続き推進 (現在、プレF/S中)



サフラナル鉱山(ペルー)

鉱山配当の推移



### 3. 個別事業の取り組み（金属事業）

#### 製錬

##### ◆ 16年度の製錬マージン

概ね前年度並みとなる見通し

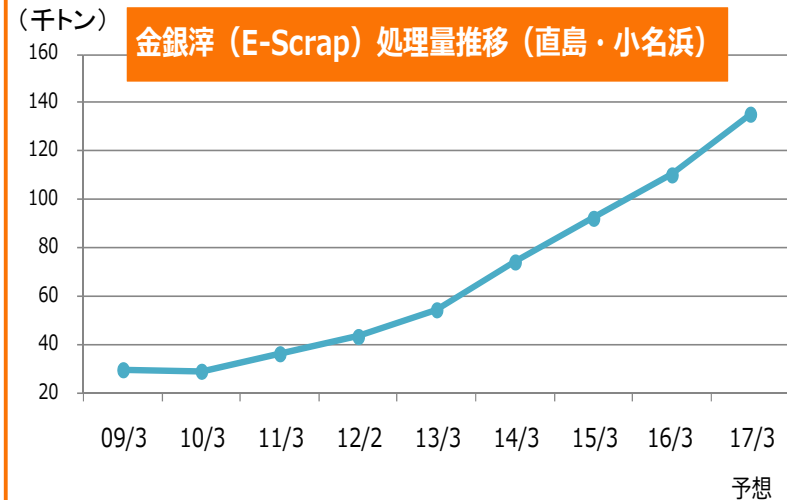
##### ◆ リサイクル事業の拡大

金銀滓（E-Scrap）受入・処理能力が  
世界トップ規模へ

直島製錬所における受入・処理能力を、  
年間8万トンから11万トンへ増強完了  
(小名浜製錬社と合わせ計14万トン体制を  
確立)



E-Scrapの一例



#### 銅加工

##### ◆ 事業環境

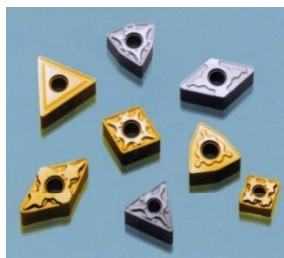
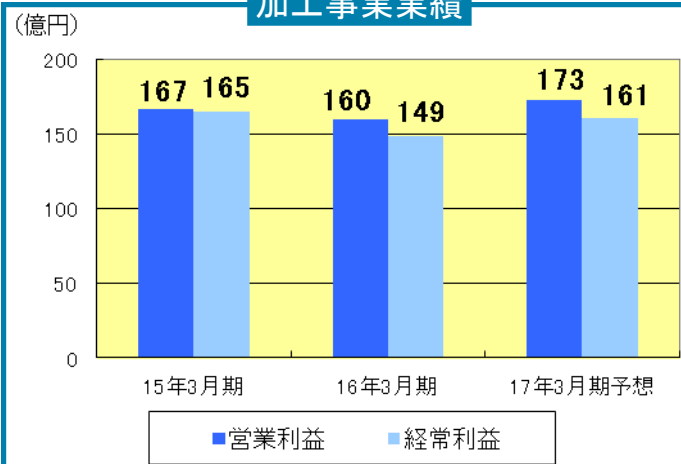
伸銅品の在庫調整はほぼ一巡し、  
車載、半導体向け共に回復基調。

##### ◆ 拡販とコスト競争力の強化

車載、スマートメーター向けなどの  
拡販と歩留向上などのコスト  
削減に注力。

### 3. 個別事業の取り組み（加工事業）

加工事業業績



#### 超硬製品

「製品供給力、ソリューション提供力を強化・維持し、顧客よりパートナーとして十分な信頼を得る事業体となる」

- ◆ **グローバルで生産・販売拠点を拡充**  
14年度から15年度において海外販売拠点を7つ設立
- ◆ **産業別チームによる営業力強化**  
重点3分野として、自動車、航空機、医療を選定
- ◆ **テクニカル拠点（現5拠点）の拡充・連携強化**  
新たに**中部加工技術センター**（岐阜県）開設予定

#### 三菱日立ツール社とのシナジー発揮

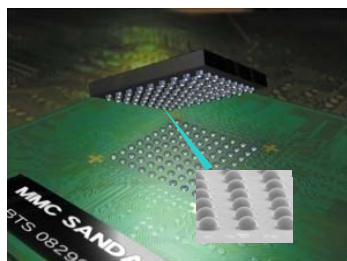
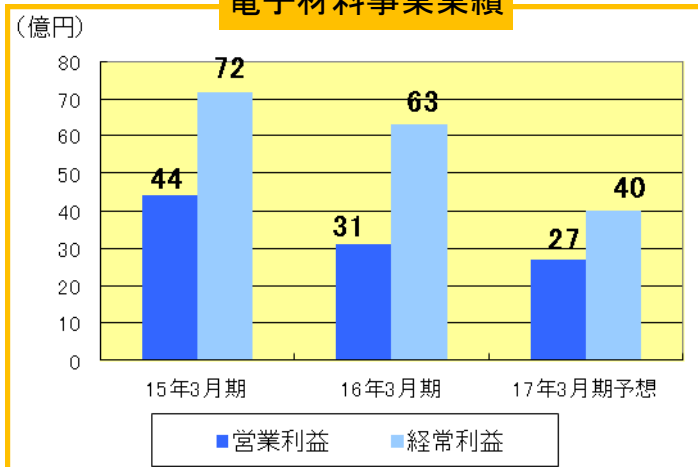
- Step1 : 15年4月以降、各部門での交流会を実施（完了）
- **Step2 : シナジー検討項目の抽出及び定量化（推進中）**

主なシナジー検討項目 ⇒ ・製品ラインナップ拡充（製品相互供給、新製品開発早期化）  
・製品性能向上（共同開発）  
・納期改善（フレキシブルな生産体制、当社のITインフラ活用）

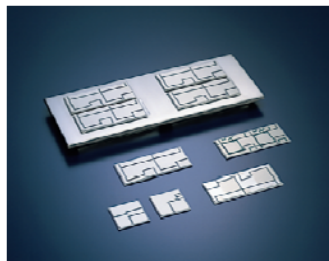


### 3. 個別事業の取り組み（電子材料事業）

電子材料事業業績



精密実装材料（機能材料）



DBA基板（機能材料）



MMEラオス社（電子デバイス）

#### 電子材料

##### ◆ 機能材料

- ・ターゲット材は、CIGS太陽電池、有機EL、タッチパネル市場への事業拡大
- ・スマートフォン向け回路形成材料である精密実装材料の新製品(高速めっき液)による巻き返し
- ・ハイブリッド車向けの絶縁基板DBA製品を新用途（電鉄・産業機械等）へ拡販

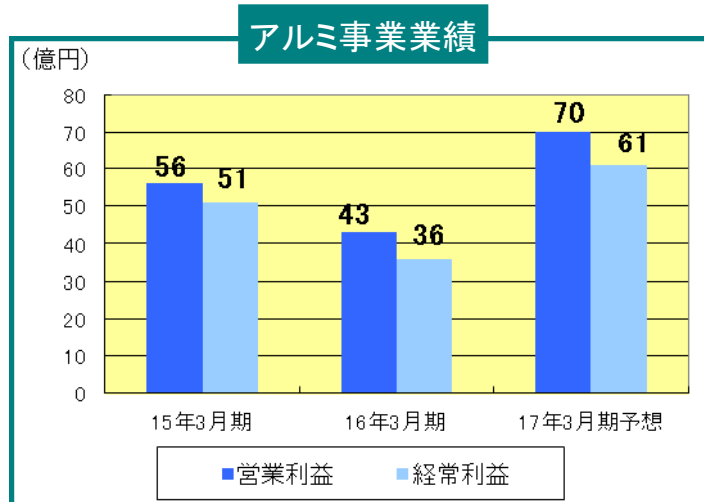
##### ◆ 電子デバイス

- サーミスタセンサを中心に、最適生産・販売体制の構築を推進し、エアコン、冷蔵庫市場などへ拡販

##### ◆ シリコン

- 供給過剰から事業環境は引き続き厳しいが、多結晶シリコンの世界No.1品質を実現し、顧客満足度を高めて拡販

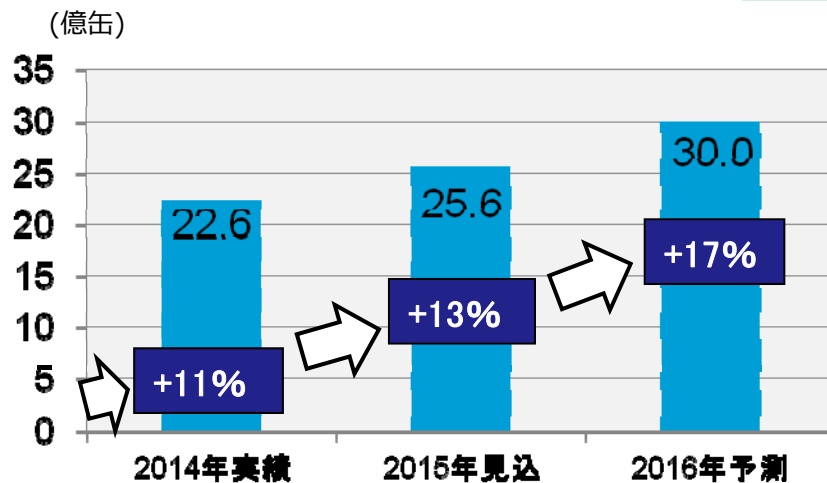
### 3. 個別事業の取り組み（アルミ事業）



#### アルミ

- ◆ **圧延・加工品**（三菱アルミニウム社）  
熱交材の海外製造拠点の拡充  
→ インド新社が生産開始（16年3月）
- ◆ **製缶**（ユニバーサル製缶社）  
需要が増大しているボトル缶の拡販  
→ 既存製造ラインの高速化などによる製造能力の増強・拡販

#### 日本のアルミボトル缶需要の推移



(出所：アルミ缶リサイクル協会)



製缶製品  
(左：ボトル缶 右：通常缶)



圧延・加工品  
(自動車用押出熱交材)



## 4.総 括

### ◆ 中期経営計画に掲げた成長戦略の実行

財務体質の改善を継続するとともに、持続的成長を実現するための戦略投資を着実に実施し、成長基盤を強化

***Materials Premium 2016***

～NO.1企業集団への挑戦～

◆お問合せ先◆

三菱マテリアル株式会社 広報・IR部

〒100-8117 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館

TEL : 03-5252-5206 FAX : 03-5252-5272

URL : <http://www.mmc.co.jp/>

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。